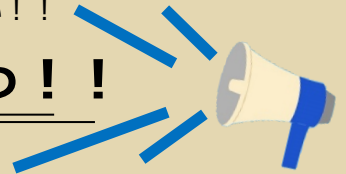


こんにちは！ゴールデンウィークが明けて、少しだるさが出てくる時期ですね🍁  
 就職予定の方は、7月の求人オープンに向けて業種や職種について調べている頃でしょうか。  
 そんな皆さんに是非とも読んで欲しい今月の記事♪土木業界あるあるNo.1といっても過言ではない  
 (かもしれない) イメージ先行問題…。正しく知って今後の参考にしてください！！

この仕事をしていると今でもまだ、「土木工事」というワードで「力仕事・体力勝負・おとなしい人には向かないでしょ？」と言われる事が多いです。そんな方たちに声を大にして言いたい！！



## 力仕事だけが土木じゃないっっ！！



### 元請業者

発注者から工事を請負う者。  
 工事全体を管理する。

1次下請業者

鋼構造物工事

2次下請業者

型枠工事

1次下請業者

舗装工事

2次下請業者

区画線工事

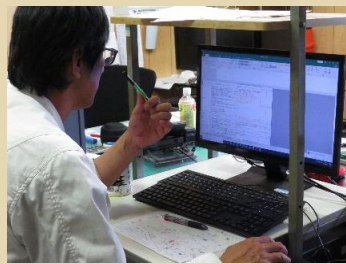
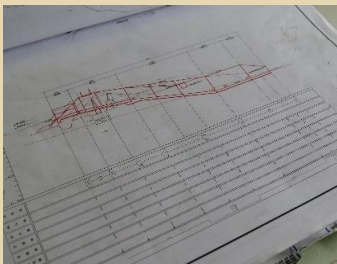
1次下請業者

警備会社

以前にもお話しましたが、一般的に1つの工事には複数の施工業者が関わっており、芦野組グループはその中の「元請(もとうけ)」として工事を施工する事が多い会社です。

元請会社の役割とは、受注した工事を期限内で、事故無く、高品質で、発注者の計画通りに完成するように「管理」をする事です。では、実際にはどんな仕事をするのか？？具体的にどんな業務があると思いますか？  
 例えば、工事場所に設計通りの構造物が作れるのか、測量をしたり地下の埋設物などを調べたりします。近隣の住民の方の生活を邪魔する事の無いように工事の案内・必要があれば臨時の駐車場などの確保、他にも工期内に工事を終わらせるために全体の工程を組み、協力してくれる下請業者さんたちの調整も行います。使う材料の数量管理や、作業工程をきちんと進めているか、確認のために日々の記録を写真に残し、それらすべての書類をまとめて作成、発注者へ提出する事も元請の仕事です。

↓↓ 測量や図面作成の様子 ↓↓



他にも、発注者との打合せや書類の提出で市役所などへ行く事もあります。これらをまとめて「施工管理」の仕事と言います。どうですか？最初に並べた「力仕事・体力勝負・おとなしい人には向かない」といったワードのイメージとは少し違うと思いませんか？？良い意味で「思ったのと違う」と感じてもらえる嬉しいです♪



ただ、元請の会社といっても実際の施工作业を全くしないわけではありません。(←ここ大事！)  
 自社で出来る工程の作業は行いますので、社員は建設車両の技能講習や教育も受けています。  
 頭でっかちなだけでなく「重機も操作しながら施工管理をする」って最高のエキスパートですよ🍁  
 芦野組ではそんなエキスパートの社員が働いていて、また、これからエキスパートを目指したいという方を歓迎・  
 応援しています！

※「エキスパート」とは特定の分野に関して知識があるというだけではなく、圧倒的な経験値があり、それを活かすことが出来る熟練者の事をいいます。